

令和4年度 第3回岐阜市立図書館協議会 議事概要

日 時：令和5年2月10日（金）午後2時00分～3時30分

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

出席者：【会場9名】アンドリュー・デュアー委員（会長）、高橋綾子委員（副会長）、山田智直委員、米原木ノ実委員、井戸一元委員、田中一慶委員、千葉佐代子委員、門屋伸子委員、嶋田学委員

【オンライン1名】平賀研也委員

【欠席4名】中村正信委員、蒲勇介委員、浅井万穂委員、遠山健二委員（事務局）吉成総合プロデューサー、川合館長、野々山係長、土谷係長、川瀬係長、中村係長

傍聴者：なし

議事概要：

■報告や事務局提案に対する委員からの意見

(1) 2022年度事業実績について
<ul style="list-style-type: none">Library of the Yearの大賞受賞について、メディアコスモス全体として評価されたことは大変良かった。大人向けのイベント等が多いと思うので、子どもが参加できる趣味講座や工作講座もあるとよい。また分館・図書室に広げていくことも考えるべき。イベントへのZoom参加を可能とし、図書館に来館しなくともサービスを受けられる体制をつくったことは評価できる。
(2) 第3次岐阜市子どもの読書活動推進計画の進捗状況について
<ul style="list-style-type: none">学校と連携し、学生が参加しやすいボランティア制度等、図書館とのかかわりを持てる場があるとよい。子どもへの読み聞かせはあるが、大人への読み聞かせがないので、そうした取り組みも増やせるとよいのではないか。
(3) その他
<ul style="list-style-type: none">中央館で行っている取り組みを分館や図書室へ広げていくとよい。障がいを持っている人もそうでない人も同様のサービスを受けられる図書館になってほしい。児童書の配架本に隙間がなく子どもが本を取りだしづらいため、書籍の選書・配架の方法を考えていくべき。メディアについての学習を改めて行う場を設けることが必要。ボランティアによるおはなし会の再開の検討が必要。図書館職員と大学や博物館の職員とのネットワークを築いていく必要がある。